

## 診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

手稲溪仁会病院消化器病センターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

### 記

1. 研究課題名	IPMNにおける新たな癌予測モデル作成のための多施設共同研究
2. 研究組織	研究代表者：清水 泰博（愛知県がんセンター中央病院 消化器外科部） 研究事務局：脇岡 範（愛知県がんセンター中央病院 消化器内科） 松尾恵太郎（愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部） 協力施設：当院を含めた 11 施設
3. 研究の概要	1996年1月～2014年12月までに外科的手術にて病理組織学的に膵管内乳頭粘液性腫瘍(Intraductal papillary mucinous neoplasm; IPMN)と診断された症例を多施設から情報集積し、現在作成している癌予測モデルの外的妥当性を検証する後方視的観察研究である。 主要評価項目：IPMN癌予測モデルの外的妥当性を検証する。 副次的評価項目：検証モデル包含因子以外も加えたより臨床応用度の高いスコアリングシステムの探索的検討 研究期間：平成27年10月から平成30年12月31日 (遺伝子解析：②行わない)
4. 使用する診療情報	診療情報内容（IPMNの画像情報、手術時の病理結果など） 対象収集期間：1996年1月～2014年12月
5. 使用する検体	検体名（            使用しない            ） 検体採取時期：平成 年 月 日～平成 年 月 日
6. 病名	膵管内乳頭粘液性腫瘍(Intraductal papillary mucinous neoplasm; IPMN)

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。  
個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。  
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

#### 【問い合わせ先】

当院研究責任医師：消化器病センター 金 俊文  
手稲溪仁会病院

〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12丁目1-40 TEL：011-681-8111 FAX：011-685-2196